

財 政 状 況 の 公 表

平成 30 年度上半期

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日まで)

第 1 平成 30 年度 上半期一般会計歳入歳出予算の執行状況

第 2 財産、地方債及び一時借入金の現在高

第1 平成30年度 上半期一般会計歳入歳出予算の執行状況

1 歳入歳出予算の概況

平成30年度の当初予算における歳入歳出の総額はそれぞれ3,009,788千円であったが、平成30年第2回定例会（平成30年8月20日開催）において補正予算（第1号）が可決されたことにより、歳入歳出予算現額は、それぞれ3,231,812千円となっている。

補正予算（第1号）の主な内容としては、まず歳入では、平成29年度一般会計の決算額が確定したことによる繰越金299,218千円を増額した。また、全国市有物件災害共済会からの共済金額が確定したため、77,194千円の減額を行った。

次に歳出では、執行額が確定した地元環境整備交付金の執行残582,923千円を減額し繰越金との合計額を財政調整基金への積立金として計上した。また、破碎設備修理委託費の額が確定し、77,194千円の減額を行った。

2 歳入予算の状況

歳入予算の状況は、次のとおりである。

平成30年度一般会計歳入歳出予算の状況

（単位：円、％）

区分 (款・項)	当初 予算額	補正 予算額	継続費及び繰 越事業費繰越 財源充当額	予算 現額	上半期現在 調定額	上半期現在 収入額	上半期現在 収入未済額	予算比	収入率
	(a)	(b)	(c)	(d)=(a)+(b)+(c)	(e)	(f)	(g)=(e)-(f)	(f)/(d)	(e)/(d)
8 分担金及び負担金	700,739,000	0	0	700,739,000	700,739,000	393,528,500	307,210,500	56.2	56.2
1 負担金	700,739,000	0	0	700,739,000	700,739,000	393,528,500	307,210,500	56.2	56.2
9 使用料及び手数料	223,138,000	0	0	223,138,000	235,005,960	82,294,100	152,711,860	36.9	35.0
1 使用料	1,000	0	0	1,000	72,000	0	72,000	0.0	0.0
2 手数料	223,137,000	0	0	223,137,000	234,933,960	82,294,100	152,639,860	36.9	35.0
11 財産収入	105,000	0	0	105,000	0	0	0	0.0	-
1 財産運用収入	105,000	0	0	105,000	0	0	0	0.0	-
13 繰入金	1,042,461,000	0	0	1,042,461,000	1,045,541,460	1,045,541,460	0	100.3	100.0
1 基金繰入金	1,042,461,000	0	0	1,042,461,000	1,045,541,460	1,045,541,460	0	100.3	100.0
14 繰越金	1,000	299,218,000	0	299,219,000	299,219,315	299,219,315	0	100.0	100.0
1 繰越金	1,000	299,218,000	0	299,219,000	299,219,315	299,219,315	0	100.0	100.0
15 諸収入	1,043,344,000	▲77,194,000	0	966,150,000	633,848,706	621,434,968	12,413,738	64.3	98.0
1 預金利子	1,000	0	0	1,000	0	0	0	0.0	-
2 雑入	1,043,343,000	▲77,194,000	0	966,149,000	633,848,706	621,434,968	12,413,738	64.3	98.0
歳入合計	3,009,788,000	222,024,000	0	3,231,812,000	2,914,354,441	2,442,018,343	472,336,098	75.6	83.8

上半期（平成30年9月30日現在）における調定総額は2,914,354千円で、予算総額に対する収入率（調定額ベース）は90.2%である。また収入総額は2,442,018千円で、予算総額に対する収入率（収入額ベース）は75.6%である。

収入済額の主な内容は、8款分担金及び負担金の構成市町負担金、9款使用料及び手数料の自己搬入ごみ処理に係る手数料である。また、13款繰入金は基金繰入金であり、財政調整基金に積み立てていた平成28年度決算剰余金及び平成29年度地元環境整備交付金の執行残を平成30年度地元環境整備交付金に充てるため取り崩した。14款繰越金は平成29年度一般会計の決算額が確定したことによる収入である。15款諸収入はごみ発電及び太陽光発電による売電収入が主となる。全国市有物件災害共済会による共済金もこの款に含む。

3 歳出予算の状況

歳出予算の状況は、次のとおりである。

平成30年度一般会計歳出予算の状況

区分 (款・項)	当初 予算額 (a)	補正 予算額 (b)	継続費及び繰 越事業費繰越 財源充当額 (c)	流用充用額 (d)	予算 現在額 (e)-(a)+(b)+(c)+(d)	上半期現在 支出負担行為額 (f)	上半期現在 支出済額 (g)	上半期現在 支出未済額 (h)=(f)-(g)	執行率 (g)/(e)
1 議会費	2,562,000	414,000	0	0	2,976,000	1,590,370	1,590,370	0	53.4
1 議会費	2,562,000	414,000	0	0	2,976,000	1,590,370	1,590,370	0	53.4
2 事業費（初期費用）	1,365,772,000	△582,923,000	0	0	782,849,000	749,277,919	387,463,826	361,814,093	49.5
2 施設整備費	677,898,000	△582,923,000	0	0	94,975,000	61,578,933	43,614,333	17,964,600	45.9
3 公債費	687,874,000	0	0	0	687,874,000	687,698,986	343,849,493	343,849,493	50.0
3 事業費（運営費）	1,347,727,000	804,535,000	0	0	2,152,262,000	1,944,655,083	1,544,151,091	400,503,992	71.7
1 総務管理費	115,671,000	881,729,000	0	0	997,400,000	890,019,761	887,955,341	2,064,420	89.0
2 施設整備費	1,232,056,000	△77,194,000	0	0	1,154,862,000	1,054,635,322	656,195,750	398,439,572	56.8
4 自己搬入ごみ関係費	31,812,000	0	0	0	31,812,000	27,346,137	12,633,755	14,712,382	39.7
1 自己搬入ごみ関係費	31,812,000	0	0	0	31,812,000	27,346,137	12,633,755	14,712,382	39.7
5 施設整備基金関係費	192,972,000	0	0	0	192,972,000	192,972,000	192,972,000	0	100.0
1 施設整備基金関係費	192,972,000	0	0	0	192,972,000	192,972,000	192,972,000	0	100.0
6 予備費	68,943,000	△2,000	0	0	68,941,000	0	0	0	0.0
1 予備費	68,943,000	△2,000	0	0	68,941,000	0	0	0	0.0
歳出合計	3,009,788,000	222,024,000	0	0	3,231,812,000	2,915,841,509	2,138,811,042	777,030,467	66.2

上半期（平成30年9月30日現在）における支出負担行為総額は2,915,842千円で、予算総額に対する執行率（支出負担行為ベース）は90.2%である。

上半期の主な支出済額としては、1款議会費は議員報酬1,053千円、使用料及び賃借料89千円、財政調整基金積立金414千円である。

2款事業費（初期費用）の2項施設整備費は旧南部工場跡地整備基本・実施設計業務委託費として5,280千円、中間処理施設及び最終処分場両施設に係る地元環境整備交付金として38,334千円、3項の公債費は343,849千円である。

3款事業費（運営費用）の1項総務管理費は公用車等の使用料1,390千円、全国市有物件災害共済会負担金等の負担金、補助及び交付金2,994千円及び財政調整基金積立金881,728千円である。2項施設整備費は中間処理施設関連として運営等委託費614,729千円、最終処分場関連として運営委託費33,181千円である。

4款自己搬入ごみ関係費は搬入管理指導員報酬3,213千円、自己搬入ごみ事前受付委託料7,411千円である。

5款施設整備基金関係費は施設整備基金積立金192,972千円となっている。また6款予備費については、充当等を行っていない。

第2 財産、地方債及び一時借入金の現在高

1 基金

平成30年度上半期（平成30年9月30日現在）における財政調整基金の現在高は882,631千円である。また施設整備基金の現在高は306,828千円である。

財政調整基金及び施設整備基金は、繰越金と地元環境整備交付金執行残とを別に管理しており、繰越金については議会費と初期費用、運営費用及び自己搬入関係費に分け、構成市（福岡市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市）毎に管理している。また、地元環境整備交付金執行残についても地元自治体毎に管理している。

2 物品

平成30年度上半期（平成30年9月30日現在）における備品の状況は、別添備品台帳のとおりである。

3 固定資産

固定資産は、次のとおりである。

平成30年度固定資産の状況

(単位:㎡)

土地	建 物	
	木造(延面積)	非木造(延面積)
251,204	0	20,408

4 その他の財産

無

5 地方債

平成30年度上半期（平成30年9月30日現在）における現在高は14,860,065千円である。

6 一時借入金

平成30年度上半期（平成30年9月30日現在）における現在高は0千円である。